

平成30年6月4日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大脇 功嗣  
( J A S D A Q ・ コード 7 5 1 9 )  
問合せ先  
役職・氏名 取締役管理部長 小林 光博  
電 話 0568-76-1050

(訂正)「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成29年2月3日に開示いたしました「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日付「平成30年3月期決算短信の公表ならびに過年度の決算短信等の訂正版の公表および過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は下線を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。また、訂正後は単一セグメントに変更になることから、従来記載しておりましたセグメントに係る箇所が削除されている場合がございます。

以 上

(訂正後)

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7519 URL <http://www.govointex.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大脇 功嗣  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)小林 光博 (TEL) (0568)76-1050  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,520	47.4	△78	—	△79	—	△68	—
28年3月期第3四半期	1,031	15.0	△54	—	△123	—	△130	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △63百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △127百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△4.21	—
28年3月期第3四半期	△9.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,744	763	43.8
28年3月期	1,487	696	46.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 763百万円 28年3月期 696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	47.0	45	—	30	—	15	—	0.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社レックアイ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	16,603,174株	28年3月期	15,403,074株
29年3月期3Q	3,823株	28年3月期	3,119株
29年3月期3Q	16,333,610株	28年3月期3Q	14,015,573株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、海外景気の下振れリスク、個人消費の伸び悩みなど景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数が増加しております。

このような状況の下、当社グループの売上高は、平成28年6月に株式交換により株式会社レックアイを完全子会社化し、同社の事業である住宅産業のシステム開発及び販売等（IT関連）が寄与したこと、室内装飾品関連では平成27年8月に新柄を追加した見本帳「インハウス」の効果などにより、大幅な増加となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費において、給料及び手当、賞与引当金繰入額及び賞与が大幅に増加し、また、株式交換に伴う支払手数料が発生いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比47.4%増の1,520百万円、営業損失は78百万円（前年同四半期は54百万円の営業損失）、経常損失は79百万円（前年同四半期は123百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円（前年同四半期は130百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第4四半期におきましては、室内装飾品関連において引き続き「インハウス」新柄による販売強化を実施するとともに、IT関連において新たな取引先を獲得することで、収益拡大を目指してまいります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、新たに量的な重要性が増したIT関連を追加しております。IT関連につきましては、前年同四半期の実績が無いことから、前年同四半期との対比の記載はしていません。

(室内装飾品関連)

売上高は、新柄追加の「インハウス」の販売が好調に推移したことなどにより増加いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比2.3%増の1,057百万円、営業利益は80百万円、（前年同四半期は54百万円の営業損失）となりました。

(IT関連)

住宅産業のシステム開発及び販売等により、結果として売上高は424百万円、営業損失は38百万円となりました。

(その他)

塗料の販売により、結果として売上高は38百万円、営業損失は4百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ112百万円増加して1,094百万円となりました。これは現金及び預金が63百万円増加、受取手形及び売掛金が21百万円増加、仕掛品が16百万円増加したことなどによります。固定資産は、144百万円増加して649百万円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が50百万円増加、投資その他の資産のその他（出資金等）が48百万円増加、ソフトウェアが21百万円増加、差入保証金が14百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ257百万円増加し、1,744百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ113百万円増加して562百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が34百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が78百万円増加、短期借入金が50百万円増加したことなどによります。固定負債は、77百万円増加して418百万円となりました。これは、長期借入金が69百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円増加し、981百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加して763百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が68百万円になったものの、株式交換による新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ64百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成28年4月28日開催の取締役会決議により、当社が株式会社レックアイを完全子会社とする株式交換契約を締結し、平成28年6月1日付で、株式会社レックアイは当社の完全子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	352,583	416,575
受取手形及び売掛金	312,380	333,457
商品	275,759	280,970
仕掛品	-	16,515
原材料及び貯蔵品	9,282	10,976
繰延税金資産	-	6,254
その他	33,920	32,183
貸倒引当金	△1,335	△2,211
流動資産合計	982,591	1,094,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	137,309	131,060
機械装置及び運搬具(純額)	247	194
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	4,877	6,629
その他(純額)	4,960	5,073
有形固定資産合計	436,896	432,457
無形固定資産		
のれん	-	8,160
商標権	182	159
電話加入権	-	21
ソフトウェア	6,416	27,594
ソフトウェア仮勘定	-	50,581
無形固定資産合計	6,599	86,516
投資その他の資産		
投資有価証券	25,172	31,786
破産更生債権等	<u>77,374</u>	<u>80,292</u>
差入保証金	32,013	46,139
その他	4,336	53,034
貸倒引当金	<u>△77,374</u>	<u>△80,292</u>
投資その他の資産合計	61,522	130,960
固定資産合計	505,018	649,935
資産合計	1,487,609	1,744,659



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,263	121,135
短期借入金	113,500	163,500
1年内返済予定の長期借入金	84,008	162,014
リース債務	841	1,211
未払法人税等	14,315	10,277
未払消費税等	12,425	20,844
賞与引当金	6,316	14,231
その他	62,833	69,444
流動負債合計	449,503	562,659
固定負債		
長期借入金	290,155	359,842
リース債務	4,298	5,825
繰延税金負債	1,967	2,886
退職給付に係る負債	32,582	37,846
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,963	6,977
固定負債合計	341,291	418,701
負債合計	790,794	981,361
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,092,903	1,157,709
資本剰余金	406,199	471,005
利益剰余金	△810,039	△878,780
自己株式	△429	△512
株主資本合計	688,634	749,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,180	13,876
その他の包括利益累計額合計	8,180	13,876
純資産合計	696,814	763,297
負債純資産合計	1,487,609	1,744,659

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,031,916	1,520,893
売上原価	551,672	834,465
売上総利益	480,244	686,427
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	190,041	257,178
賞与	6,768	14,231
賞与引当金繰入額	1,260	33,781
貸倒引当金繰入額	-	4,115
退職給付費用	4,365	5,526
業務委託費	31,652	36,084
賃借料	41,184	47,244
減価償却費	12,543	15,648
のれん償却額	-	2,720
支払手数料	-	17,579
その他	246,436	331,001
販売費及び一般管理費合計	534,252	765,111
営業損失(△)	△54,008	△78,684
営業外収益		
受取配当金	29	697
為替差益	1,438	977
貸倒引当金戻入額	2,789	-
保険解約返戻金	9	509
その他	6,151	11,323
営業外収益合計	10,419	13,508
営業外費用		
支払利息	8,136	9,898
売上割引	325	381
貸倒引当金繰入額	53,735	-
持分法による投資損失	-	1,575
株式交付費	12,788	-
その他	4,813	2,296
営業外費用合計	79,798	14,153
経常損失(△)	△123,387	△79,329
特別利益		
違約金収入	-	24,434
特別利益合計	-	24,434
特別損失		
固定資産除却損	0	11,994
特別損失合計	0	11,994
税金等調整前四半期純損失(△)	△123,387	△66,889
法人税、住民税及び事業税	7,394	8,105
法人税等調整額	-	△6,254
法人税等合計	7,394	1,851
四半期純損失(△)	△130,781	△68,740
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,781	△68,740

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	<u>△130,781</u>	<u>△68,740</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,981	5,695
その他の包括利益合計	2,981	5,695
四半期包括利益	<u>△127,800</u>	<u>△63,045</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△127,800</u>	<u>△63,045</u>

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当社は、平成28年4月28日開催の取締役会決議により、当社が株式会社レックアイを完全子会社とする株式交換契約を締結し、平成28年6月1日付で、株式会社レックアイは当社の完全子会社となりました。

これに伴う株式交換による新株式の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ64,805千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,157,709千円、資本剰余金が471,005千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社グループは、カーテンを中心とした室内装飾品の販売を主な事業内容としており、単一セグメントであることから、該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	室内装飾品 関連	I T 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,057,983	424,109	1,482,093	38,800	1,520,893	—	1,520,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,057,983	424,109	1,482,093	38,800	1,520,893	—	1,520,893
セグメント利益又は 損失(△)	80,516	△38,587	41,929	<u>△4,972</u>	<u>36,956</u>	△115,640	<u>△78,684</u>

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分しない全社費用が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「I T 関連」セグメントにおいて、株式会社レックアイを連結子会社化したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては10,880千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式交換により株式会社レックアイを完全子会社化し、同社の事業であるシステム開発及び販売等を新たな報告セグメント「I T 関連」として、第1四半期連結累計期間より追加しております。